

立志

志をもち
自ら学び
ともに高め合い
逞しく生き抜く



令和6年2月9日(金)発行 校長 川崎 朗

「先輩に学ぶ会」で高校について考えました!!

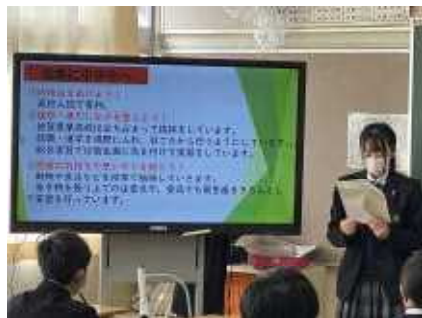
2月6日(火)、2年生を対象に先輩に学ぶ会を開催しました。これは、本校卒業の高校生に来てもらって、それぞれの高校の特徴や高校生活について話をしてもらうというもので、毎年行っています。本年度も下の8校10学科から高校1・2年生の本校卒業の先輩方からお話をいただきました。

白石高校(普通科・商業科)、鹿島高校(普通科・商業科) 佐賀工業高校(電気科)
佐賀農業高校(食品科学科)、有田工業高校(デザイン科)、佐賀商業高校(商業科)
佐賀北高校(普通科)、牛津高校(食品調理科)

中学生にとって中学卒業後の進路を決定することは最も重要なことです。中3になれば1学期に高校説明会、夏休みに1日体験入学など実際に高校の先生からお話を聞いたり、高校に行って様子を体験するなどの機会があります。その第一歩として「先輩に学ぶ会」は、高校生から直接、生の声を聞いて高校生活についてのイメージをもち、自分がどの高校に進みたいかを具体的に考える貴重な機会となります。例年近くの高校が多かったですが、最近の傾向として佐賀市内の高校に進む生徒も多く、本年度は3つの佐賀市内の高校からもお話をいただきました。生徒はメモを取りながら一生懸命に話を聞いていました。また、話してくれた高校生もしっかりと準備をしてきちんと話をしてくれ、さすが高校生と、その成長ぶりに感心させられました。

この会を1年後の進路実現に向けてのスタートととらえて、一人一人が卒業後の進路をイメージしてそこに向けて今からなすべきことをしっかりと自覚し、自分で行動してほしいと思います。その一つ一つの積み重ねが次に繋がっていくはずです。

最後に、お話ししていただいた先輩方に心から感謝します。



「思いやり」について改めて考えてみましょう!!

2月4日(日)に白石町人権フェスティバルが開催されました。これは町全体で人権について考える機会として毎年実施されています。町内の各小中学生が絵画や標語、作文など様々な形で人権についての思いを表現して大会に参加をし、本校からも、裏面記載の生徒が入賞して、代表の人が当日の大会の中でも表彰を受けました。

人権標語コンクール

白石町長賞 片渚ちはる(2年) 特選 片渚荘輔(1年) 光武心花(3年)

人権作文コンクール

武雄協議会長賞・白石町奨励賞 藤武翔太(3年)

白石町奨励賞 木原捺希(2年)

人権ポスターコンクール

特選 岩石九羅々(2年) 片渚ちはる(2年)

私たちは、知らないうちに人を傷つけたり嫌がる言動をすることがあります。そういうことが起こるのは、自分と他の人の価値観や考え方が違うからです。自分はどうも思わない言葉や行動であっても、その言葉や行動によって傷ついたりいやな思いをする人がいます。だから私たちは、自分目線で「自分が言いたい、やりたいからする」だけでなく、他者目線で「これを言ったりやったりすると相手はどう思うだろう」と考えてから口に出したり行動したりすることが大切になります。これが「思いやり」です。そして、それを学ぶ場が学校です。同じ教室にいても自分と同じ考え方や行動をする人は一人もいません。それぞれの人が自分とは違うのです。自分と他の人が違うことを理解し、互いのことを理解しながら生活することが社会生活の基本です。そして、その中で私たちは他者と適切に関わっていく力(コミュニケーション能力)を身につけていきます。いよいよ、本年度の生活も残りわずかです。互いのことを思って行動するという「思いやり」の心を大切に学校生活を送ってほしいと思っています。(写真は、当日の表彰のようす)



有明中学校最後の読み聞かせが行われました!

2月7日(水)、本年度の読み聞かせが最終回を迎えました。本校では「お話の会有明」の皆様のご支援で、朝の時間に読み聞かせをしていただいています。これは15年以上続いており、本校にとってとても大切な行事です。毎回生徒のために時間をつくって読み聞かせに来ていただき、生徒の豊かな心の育成を支えていただいている「お話の会有明」の皆様には心から感謝しています。有明中学校での読み聞かせは最後となり、卒業生を含めて多くの生徒が本当にお世話になりました。来年からは新しい白石中学校になりますが、引き続き、お願いできればと心から思っています。本当にありがとうございました。

学校は地域の皆様のさまざまな支えがあって初めて成り立つものであることを改めて実感します。日々の地域の皆様の見守りがあって生徒は安心して登下校することができています。また、さまざまな行事も地域の皆様のご支援をいただきながら取り組みができています。地域の学校として地域に支えていただきながら地域を支えることができる生徒を育成できるように最後まで頑張っていきたいと強く思っています。これからもよろしくお願ひします。



<左から読み聞かせのようす、生徒からの感謝の手紙の贈呈、「お話の会有明」の皆様との記念写真>